

様式7

複数学年：「学校」部門

河川基金助成事業

弥生が好きっ！
～弥生を学ぶ、弥生を体験しよう～

報告書

助成番号：2021 - 7212 - 024

大分県 佐伯市立昭和中学校

校長 氏名 森脇 郷子

2021 年

助成番号	助成事業名				学校名	
2021-7212-024	弥生が好きっ!～弥生を学ぶ、弥生を体験しよう～				大分県佐伯市立昭和中学校	
校長名	森脇 郷子		担当教諭名		青柳 喜之	
過去の助成実績	なし あり [助成番号: 助成事業名:]					
キーワード	「川下り」「自然体験」					
対象児童生徒	中学生 (1年77名 2年73名 3年72名 計222名)					
対象河川名	番匠川、井崎川	活動場所の指定状況		なし 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ						
テーマ	1年:弥生の魅力について再発見しよう		2年:地域の防災について考えよう!		3年:豊かなふるさとを育む自然にふれよう!	
ねらい	○自分の住む地域に関心を持ち、積極的に関わろうとする態度の育成 ○地域との関わりから見出した課題の解決に向けて主体的・協働的に情報を収集し目的に応じて比較したり関連づけたりする力の育成					
評価の観点	○知識及び技能の習得 ○課題解決力の育成 ○より良く生活しようとする態度の育成					
活動時期	4月～1月 (オミクロン株の急速な感染拡大のため、2～3月は活動を自粛)					
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習 (家庭)	各教科学習 (美術)	学校行事	その他 (保健体育)	合計
上記の活動時間数	1年 39時間	1年 4時間	1年 4時間		1年 2時間	1年 49時間
	2年 41時間	2年 2時間	2年 4時間	0時間	2年 2時間	2年 49時間
	3年 22時間	3年 2時間	3年 4時間		3年 2時間	3年 30時間
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等	企業	その他	
支援概要	1 道の駅やよい「番匠おさかな館」 2 日本赤十字社大分県支部 3 番匠川漁業協同組合淡水魚種苗センター 4 佐伯市社会福祉協議会			支援内容・・・サップ体験、講演 (番匠川のさかな) 支援内容・・・救急法講習、炊き出し体験 支援内容・・・鮎のちよんがけ体験、鮎調理 支援内容・・・避難所運営体験		
活動成果	発表形態				成果作品	
	学級単位	学年単位	学校全体		プレゼンテーション (PowerPinnt) 及び「弥生の魅力ポムレット」作成・配布	
対外発表 (道の駅やよい、佐伯市役所弥生振興局)						
安全対策に関する課題						
○新型コロナウイルス感染症拡大のため、予定していた野外活動や発表会を自粛 (文化祭、PTA 発表会等) ○雨による河川の増水や登山道不良のため、活動内容及び活動日を変更 (カヤック体験、サップ体験、尺間ウォークラリー等) ※河川での活動時には、全生徒ヘライフジャケットの着用を徹底						
活動の成果と今後の課題・展開						
1 活動の成果 1年:ふるさとの魅力について再発見することができ、ふるさとのすばらしさを感じ取ることができた。 2年:地域で起こりうる災害や災害発生時にできる行動について学び、防災への意識の向上を図ることができた。 3年:自然体験活動等とおして、ふるさとを愛し、将来、地域に貢献しようとする気持ちを高めることができた。 2 今後の課題・展開 1年:地域の産業と自然・風土について調べるとともに、地域のために貢献できることについて考えさせる。 2年:災害発生時に、自分や地域の人々の命を守る適切な判断や行動について考えさせる。 3年:豪雨等の影響のため、予定していた活動を十分に行うことができなかった。						
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)						
データベースに登録する活動分野	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
	学校部門	教育活動	体験活動 系	川下り (サップ、カヤック等)	7～9 月	
			文化・歴史 系	川と文化	9～12 月	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P. 46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

複数学年 活動報告書

(NO. 1)

1.助成事業名		弥生が好き！ ～弥生を学ぶ、弥生を体験しよう～			学校名	大分県佐伯市立昭和中学校			助成番号	2021-7212-024		
2.単元名		弥生の魅力について再発見しよう！ ～MAP&パンフレットを作成し、弥生の素晴らしさを知ってもらおう～										
3.目標		ふるさと弥生の調べ学習や体験活動をとおして、地域の課題を見出し、その解決に向けて主体的・協働的に情報を収集し、目的に応じて比較したり関連づけたりする力を持つことができる。										
4.実施学年 人数		1年 77名										
5.場所		大分県佐伯市弥生大字小田付近 番匠川（中流域）、大分県佐伯市弥生大字井崎（井崎川 番匠川支流）										
6.単元構想（総時間数33時間）		総合的な学習39時間			美術4時間		家庭4時間		（総時間数 47時間）			
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
1学年・単元目標			番匠川を知ろう (総合:13時間)	ふるさと弥生に出かけよう (総合:12時間)		番匠川を表現しよう (美術:4時間)		来て!見て!やよい MAP&パンフレット をつくろう! (総合:14時間)		ふるさとの味を食べよう(家庭:4時間)		
			水辺での安全確保について学ぶとともに、番匠川の良さに気付く。	ふるさと弥生に出かけ、体験したり触れたりすることで、ふるさとの課題や良さに気付く。		番匠川の良さや地域自然を表現することができる。		ふるさと弥生について、体験・調査した内容をパンフレットにまとめ、発表の仕方や内容を工夫して発表する。		ふるさと弥生の特産物の調理から、山や川の恵みを知る。		
主な学習活動			【体験活動】 ○鮎のちよんがけ体験(3時間) ・地域の伝統的な漁法である「鮎のちよんがけ漁」と鮎料理の体験 ○救急救命法講習及び水上安全法講習(4時間) ・応急処置(胸骨圧迫、人工呼吸) 指導:日本赤十字社大分県支部 ・着衣泳及びライフジャケット装着泳 ○カヤック体験教室(6時間) ・カヤックの体験	【情報の収集】 ○グループ編成・グループ討議(4時間) ・文化・歴史・自然・食・観光の5分野に班分け ・探索スポット、テーマの選定・決定 【探究活動】 ○校外調査活動(8時間) ・地元の人々へのインタビュー、実地体験 ・現地調査シートへ記入		【まとめ・表現】 ○ドット画制作(4時間) ・自然体験や番匠川の様子をドット画で表現		【情報の整理・分析】 ○おすすめ MAP・パンフレット作成(8時間) ・体験した内容や調べた内容のまとめ ・おすすめ MAP…13枚作成 ・パンフレット…19種作成 ・パンフレット展示・配布 …弥生振興局、道の駅やよい 【表現・発表】 ○文化祭 ・おすすめ MAP 展示 【体験活動】 ○尺間ウォークラリー(6時間) ・尺間山への登山(往復 20km) ・地域の自然や生き物、山頂の神社の観察		【体験学習】 ○調理実習(4時間) ・特産物(しょうが、鮎等)を用いた調理実習 ・地域ボランティア(大間婦人会)による実技指導…中止		
	評価項目			○鮎のちよんがけ体験 ・地域の伝統漁法である「鮎のちよんがけ漁」を体験する。 ・鮎料理から川の恵みを体験する。 ・川と人々の暮らしの関わりを感じ取る。 ○救急救命法講習及び水上安全法講習 ・応急処置(胸骨圧迫、人工呼吸)ができる。 ・衣服とライフジャケットを装着して泳ぐことができる。 ○カヤック体験教室 ・カヤックを操作できる。 ・水や魚、植物の観察から番匠川の特徴を知る。	○グループ編成・グループ討議 ・それぞれの分野に適した探求スポットを見出す。 ・探求したい内容に応じたテーマを選定できる。 【探究活動】 ○校外調査活動 ・主体的に探究活動を実践している。 ・調べた内容をわかりやすく整理できる。		○ドット画表現 ・歓迎遠足や普段の生活から感じ取れた地域の良さを、協力してドット画で表現できる。		○おすすめ MAP・パンフレット作成 ・体験した内容や調べた内容を、わかりやすくまとめることができる。 ・ふるさと弥生の魅力を、わかりやすく表現することができる。 ○文化祭…展示 ・ふるさとについて調べた内容をわかりやすく伝えることができる。 ○尺間ウォークラリー ・地域の自然や生き物、山頂の神社の観察から地域を愛する心情を持つ。		○調理実習 ・ふるさと弥生の特産物である「しょうが」と「鮎」を用いた調理をとおして、山と幸の恵みについて知る。 ・将来の自分や地域との関わりについて、考えることができる。	

複数学年 活動報告書

(NO. 2)

1.助成事業名	弥生が好き！～弥生を学ぶ、弥生を体験しよう～	学校名	大分県佐伯市立昭和中学校	助成番号	2021-7212-024
---------	------------------------	-----	--------------	------	---------------

7.実際にいった単元構成 注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
1 学 年	<p>番匠川を知ろう (総合:13時間)</p> <p>水辺での安全確保について習得させるとともに、番匠川の良さに気付かせた。</p> <p>【体験活動】 ○鮎のちよんがけ体験(3時間) ・地域の伝統的な漁法である「鮎のちよんがけ漁」と鮎料理の体験させた。</p>  <p>○救急法講習及び水上安全法講習(4時間) ・救急救命法講習・着衣泳・ライフジャケット装着泳を行った。</p>  <p>○カヤック体験教室(6時間) ・カヤックの体験を行った。</p> 		<p>ふるさと弥生に出かけよう (総合:12時間)</p> <p>ふるさと弥生に出かけ、体験したり触れたりすることで、ふるさとの課題や良さに気付く。</p> <p>【情報の収集】 ○グループ編成・グループ討議(4時間) ・文化・歴史・自然・食・観光の5分野に班分け ・探索スポットとテーマを選定・決定させた。</p>  <p>【探究活動】 ○校外調査活動(8時間) ・地元の人々へのインタビューと実地体験より地域の実態を調査させた。 ・調べた内容を現地調査シートに記入させた。</p> 		<p>番匠川を表現しよう (美術:4時間)</p> <p>番匠川の良さや地域自然を表現させることができた。</p> <p>【まとめ・表現】 ○ドット画制作(4時間) ・自然体験や番匠川の様子を、協力してドット画で表現することができた。</p>   <p>・文化祭で展示することができた。(テーマ:番匠川河川公園での歓迎遠足)</p> 		<p>来て!見て!やよい MAP&パンフレットをつくろう! (総合:14時間)</p> <p>ふるさと弥生について、体験・調査した内容を MAP やパンフレットにまとめ、工夫して発表できた。</p> <p>【情報の整理・分析】 ○おすすめ MAP・パンフレット作成(8時間) ・体験した内容や調べた内容をおすすめ MAP(13枚)とパンフレット(19種)にまとめることができた。 ・パンフレット展示・配布...弥生振興局、道の駅やよい</p> <p>【表現・発表】 ○文化祭 ・おすすめ MAP を展示できた</p>  <p>【体験活動】 ○尺間ウォーク(6時間) ・地域の自然や生き物、山頂の観察をとおして、ふるさとの良さを感じ取ることができた。</p> 		<p>ふるさとの味を食べよう(家庭:4時間)</p> <p>ボランティアの指導は中止。調理実習は延期。</p> <p>【体験学習】 ○調理実習(4時間) ・特産物(しょうが、鮎等)を用いた調理実習は3月に延期した。 ・地域ボランティア(大間婦人会)による実技支援は中止した。</p> <p>※新型コロナウイルス・オミクロン株の急速な感染拡大のため、上記活動を中止及び延期した。</p>		

8.成果と課題

- 「ふるさと弥生」について、自分たちが住んでいる地域でありながら、あらためて体験したり地域に出かけたりすることで、地域の魅力を再発見することができた。
- 「ふるさと弥生」について、調べたり体験したりしたことを、整理・分析することで、仲間と協力しながら、「地域の魅力」を題材とした思考力・表現力を育成することができた。
- 地域の自然や文化遺産、食文化を掘り起こす過程で、地域の将来像について思い描くことができた。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の人々との交流や活動内容が制限されたことから、地域の人々の思いや声に十分に聞き取ることができなかった。

複数学年 活動報告書

(NO. 1)

1.助成事業名		弥生が好き！ ～弥生を学ぶ、弥生を体験しよう～			学校名	大分県佐伯市立昭和中学校			助成番号	2021-7212-024	
2.単元名		地域の防災について考えよう！ ～弥生地区（自分の校区）のハザードマップを作成しよう～									
3.目標		地域の災害発生危険場所を実際に見学することで、災害の種類や危険な場所、避難所への移動経路等をするとともに、自分や家族・地域の人々を守る行動を考えさせ、防災意識の向上を図る。									
4.実施学年 人数		2年 73名									
5.場所		大分県佐伯市弥生大字小田付近 番匠川（中流域）、大分県佐伯市弥生大字井崎 井崎川（番匠川支流）									
6.単元構想（総時間数時間）		総合的な学習 4 1 時間		美術 4 時間		家庭 2 時間		（総時間数 4 7 時間）			
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
2 学年・単元目標	洗濯と環境について考える（家庭：2時間）	防災教室（総合：9時間）	ふるさと弥生に出かけよう（総合：10時間）	番匠川を表現しよう（美術：4時間）	防災講座・尺間ウォークラリー（総合：8時間）・（総合：6時間）	弥生の良さを発表しよう（総合：8時間）					
	環境に配慮した洗濯や購入方法を考えることができる。	土砂災害発生のメカニズムと地区の災害発生危険場所を確認することで、防災意識を持つ。	ふるさと弥生に出かけ、体験したり触れたりすることで、ふるさとの課題や良さに気付く。	番匠川の良さや地域の自然を表現することができる。	避難所体験や炊き出し訓練をととして、災害時にできる行動を習得する。自然観察から環境保護への意識を持つ。	修学旅行で訪れた大分県の他地域の良さと、弥生の良さを保護者にわかりやすく発表する。					
主な学習活動	【情報の収集】 ○グループ討議（2時間） ・洗剤、リサイクル等について、実生活や教科書を元に、グループ討議	【課題の設定】 ○防災教室(3時間) ・講話①「防災と土木について」 ・講話②防災 VR 体験、ハザードマップづくり 【情報の収集】 ○校区現地調査(6時間) ・災害発生場所の現地調査 ・調査内容をハザードマップに追記 指導：大分県佐伯土木事務所企画調査課	【体験活動】 ○救急救命法講習及び水上安全法講習(4時間) ・応急処置(胸骨圧迫、人工呼吸) 指導：日本赤十字社大分県支部 ・着衣泳及びライフジャケット装着泳 ○カヤック・サップ体験教室(6時間) ・カヤック・サップの体験 指導：道の駅やよい	【まとめ・表現】 ○水彩画制作(4時間) ・自然体験から感じ取った地域の良さを水彩画で表現 ※国土交通省主催「河川愛護月間」出品 ○文化祭 ・作品展示	【体験活動】 ○避難所運営(4時間) ・避難所開設 ・パーテーション体験 指導：佐伯市社会福祉協議会 【体験活動】 ○非常時炊き出し体験(4時間) ・無洗米炊き出し ・災害用テント開設体験 指導：日本赤十字社大分県支部 【体験活動】 ○尺間ウォークラリー(6時間) ・尺間山への登山(往復 20km) ・地域の自然や生き物、山頂の神社の観察	【情報の収集】 ○修学旅行(6時間)・・・3年次に延期 ・大分県九重町・・・スキー体験(中止) 【情報の整理・分析】 ○発表会事前準備(1時間)(中止) ・修学旅行で体験した内容のまとめ 【表現・発表】(中止) ○弥生の良さ発見PTA発表会(1時間)(中止) ・ふるさとについて調べたプレゼンテーション発表					
	○グループ討議 ・衣服のリサイクル方法について知る。 ・洗濯と環境について考える。 ・資源や環境について配慮した衣生活について考える。	○防災教室 ・土砂災害発生のメカニズムを学ぶ ・地域の災害発生危険箇所を知る。 ○現地調査 ・災害の種類や危険箇所を知る。 ・避難所への移動経路を知る。	○救急法講習及び水上安全法講習 ・応急処置(胸骨圧迫、人工呼吸)ができる。 ・衣服やライフジャケットを装着して泳ぐことができる。 ○カヤック・サップ体験教室 ・カヤック及びサップを操作できる。	○水彩画表現 ・カヤック・サップ体験や普通の生活から感じ取れた地域の良さを、水彩画で表現できる。	○避難所運営 ・避難所体験をととして、自助・共助の意識を持つ。 ○非常時炊き出し訓練 ・非常時炊き出し訓練をととして、自助・共助の意識を持つ。 ○尺間ウォークラリー ・地域の自然や生き物、山頂の神社の観察から地域を愛する心情を持つ。	○修学旅行 ・大分県の他地域の良さや魅力を発見することができる。 ○発表会事前準備(中止) ・プレゼンテーションを作成し新たにわかったことや気づいたことを付け加え、わかりやすくまとめる。 ○弥生のよさ発見PTA発表会(中止) ・ふるさと弥生の良さや魅力をまとめたPR 動画作成し、保護者にわかりやすく伝えることができる。					
評価項目											

※申請時に作成したものを基にした実施計画を記載

複数学年 活動報告書

1.助成事業名	弥生が好き！～弥生を学ぶ、弥生を体験しよう～	学校名	大分県佐伯市立昭和中学校	助成番号	2021-7212-024
---------	------------------------	-----	--------------	------	---------------

7.実際に行った単元構成 注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
2 学 年	<p>洗濯と環境について考える (家庭:2時間)</p> <p>洗濯や購入方法について振り返り、環境に配慮した生活が大切なことに気付かせた。</p> <p>【情報の収集】 ○グループ討議(2時間) ・洗剤、衣類等のリサイクル等について、実生活や教科書を元に振り返り、グループごとに環境に配慮した生活を発表させた。</p>	<p>防災教室 (総合:9時間)</p> <p>土砂災害発生メカニズムと地区の災害発生危険場所を確認することで、防災意識を向上させた。</p> <p>【課題の設定】 ○防災教室(3時間) ・講話①「防災と土木について」 ・講話②防災VR体験、ハザードマップづくりを行った。</p>  <p>【情報の収集】 ○校区現地調査(6時間) ・災害発生場所の現地調査を行った。 ・調査内容をハザードマップに追記した。 指導:大分県佐伯土木事務所企画調査課</p> 	<p>ふるさと弥生に出かけよう (総合:10時間)</p> <p>ふるさと弥生に出かけ、体験したり触れたりすることで、ふるさとの課題や良さに気付かせた。</p> <p>【体験活動】 ○救急救命法講習及び水上安全法講習(4時間) ・救急救命法講習を行った。 指導:日本赤十字社大分県支部 ・着衣泳及びライフジャケット装着泳を実施した。</p>  <p>○サップ体験教室(6時間) ・サップ体験を行った。 指導:道の駅やよい</p> 	<p>番匠川を表現しよう (美術:4時間)</p> <p>番匠川の良さや地域自然を、表現することができた。</p> <p>【まとめ・表現】 ○水彩画制作(4時間) ・自然体験から感じ取った地域の良さを水彩画で表現させた。 ※国土交通省主催「河川愛護月間」出品 奨励作品受賞</p>  	<p>防災講座・尺間ウォーク (総合:8時間)・(総合:6時間)</p> <p>避難所体験や炊き出し訓練をとおして、災害時の行動を考えさせることができた。自然観察から地域の環境保護の大切さに気付かせた。</p> <p>【体験活動】 ○避難所運営(4時間) ・避難所開設体験を実施した。 指導:佐伯市社会福祉協議会</p>  <p>【体験活動】 ○非常時炊き出し体験(4時間) ・無洗米炊き出し訓練と災害用テント開設体験を実施した。 指導:日本赤十字社大分県支部</p>  <p>【体験活動】 ○尺間ウォークラリー(6時間) ・尺間山への登山を実施した。</p>	<p>弥生の良さを発表しよう (総合:8時間)</p> <p>修学旅行は、3年次に延期した。また、スキー体験 PTA 発表会は中止した。</p> <p>【情報の収集】 ○修学旅行(6時間)…3年次に延期 ・湯布院探索予定。 ・大分県九重町…スキー体験(中止) 【情報の整理・分析】 ○発表会事前準備(1時間)(中止)</p> <p>【表現・発表】(中止) ○弥生の良さ発見PTA発表会(1時間)(中止)</p> <p>※新型コロナウイルス・オミクロン株の急速な感染拡大のため、上記活動を中止及び延期した。</p>					

8.成果と課題

- 専門家による指導の下、災害の危険性や地域の災害の実態、災害発生時に中学生でもできる行動について学び、防災意識を向上させることができた。
- 実生活の振り返りや自然体験をとおして、環境保全への意識の向上と地域の一員としての自覚を促すことができた。
- 自然体験から感じ取った「ふるさと弥生」の良さを水彩画による表現活動をとおして、弥生の良さやすばらしさを改めて知ることができた。
- 新型コロナウイルス・オミクロン株の急速な感染拡大のため、予定していた活動の変更や中止を余儀なくされた。(文化祭、スキー体験、修学旅行、PTA発表会等)

複数学年 活動報告書

(NO. 1)

1.助成事業名		弥生が好き！ ～弥生を学ぶ、弥生を体験しよう～			学校名	大分県佐伯市立昭和中学校			助成番号	2021-7212-024		
2.単元名		豊かなふるさとを育む自然にふれよう										
3.目標		ふるさと弥生の調べ学習や体験活動をとおして、地域の課題を見出し、その解決に向けて主体的・協働的に情報を収集し、目的に応じて比較したり関連づけたりする力を持つことができる。										
4.実施学年 人数		3年 72名										
5.場所		大分県佐伯市弥生大字小田付近 番匠川（中流域）										
6.単元構想（総時間数時間）		総合的な学習時間 2 2 時間		美術 4 時間		家庭 2 時間		（総時間 2 8 時間）				
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
3 学年・単元目標	水辺で命を守ろう （総合:4時間）		ふるさと弥生に出かけよう （総合:8時間）		番匠川を表現しよう （美術:4時間）		オリンピックを表現しよう(総合:4時間) 山間の自然を知ろう(総合:6時間)		生活に必要な商品の流れを知ろう (家庭:2時間)			
	水辺に潜む危険性を知るとともに、水辺における命の守り方を身に付ける。		ふるさと弥生に出かけ、体験したり触れたり味わったりすることで、ふるさとの課題や良さに気付く。		番匠川の良さや地域自然を表現することができる。		東京オリンピック 2020 の感動を、表現することができる。		地元の特産品等(鮎、しょうが)の流通や消費状況を知り、地域産業の将来を考える			
主な学習活動	【体験活動】 ○救急救命法講習及び水上安全法講習（4時間） ・応急処置(胸骨圧迫、人工呼吸) ・着衣泳及びライフジャケット装着泳 指導:日本赤十字社大分県支部		【体験活動】 ○鮎のちよんがけ体験(4時間) ・地域の伝統的な漁法である「鮎のちよんがけ漁」と鮎料理の体験 協力:番匠川淡水魚種苗センター ○サップ体験(4時間) ・サップ体験 指導:道の駅やよい		【まとめ・表現】 ○水彩画制作(4時間) ・自然体験から感じ取った地域の良さを水彩画で表現 ※国土交通省主催「河川愛護月間」出品		【表現・発表】 ○爪楊枝アート制作(4時間) ・テーマ設定 ・爪楊枝アート制作 ・文化祭にて展示 【体験活動】 ○尺間ウォーク(6時間) ・尺間山への登山(往復 20km) ・地域の自然や生き物、山頂の神社の観察		【調べ学習】 ○地元の特産品調べ ・鮎、しょうが等の流通や消費状況の調査 ※聞き取り調査・・・中止			
	○救急法講習及び水上安全法講習 ・応急処置(胸骨圧迫、人工呼吸)ができる。 ・衣服とライフジャケットを装着して泳ぐことができる。		○鮎のちよんがけ体験 ・地域の伝統的な漁法である「鮎のちよんがけ漁」を体験する。 ・鮎料理から川の恵みを体験する。 ○サップ体験 ・サップを操作できる。 ・水や魚、植物の観察から番匠川を知る。		○水彩画表現 ・カヤック・サップ体験や普段の生活から感じ取れた地域の良さを、水彩画で表現できる。		○爪楊枝アート制作 ・東京オリンピックの感動を立体的に表現できる。 ・丁寧に地道な作業に取り組むことで協調性を養う。 ○尺間ウォークラリー ・地域の自然や生き物、山頂の神社の観察から地域を愛する心情を持つ。		○地元の特産物調べ ・調べたり聴き取ったりした内容を、わかりやすく説明することができる。			
評価項目												

複数学年 活動報告書

(NO. 2)

1.助成事業名	弥生が好き！～弥生を学ぶ、弥生を体験しよう～	学校名	大分県佐伯市立昭和中学校	助成番号	2021-7212-024
---------	------------------------	-----	--------------	------	---------------

7.実際に行った単元構成 注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
3 学 年				<p>水辺で命を守ろう (総合:4時間)</p> <p>水辺に潜む危険性を学び取るとともに、水辺における命の守り方を身に付けることができた。</p> <p>【体験活動】 ○救急救命法講習及び水上安全法講習(4時間) ・応急処置(胸骨圧迫、人工呼吸)を実施した。 指導:日本赤十字社大分県支部</p>   <p>・着衣泳及びライフジャケット装着泳を実施した。</p> 	<p>ふるさと弥生に出かけよう (総合:8時間)</p> <p>ふるさとに出かけ、体験したり触れたり味わったりすることで、ふるさとの課題や良さに気付くことができた。</p> <p>【体験活動】 ○鮎のちょんがけ体験(4時間) ・「鮎のちょんがけ漁」を体験した。 ・鮎料理から川の恵みを感じ取れた。 協力:番匠川淡水魚種苗センター</p>  <p>○サップ体験(4時間) ・サップ体験を体験した。 ・水や魚、水草等を観察できた。 指導:道の駅やよい</p>  	<p>番匠川を表現しよう (美術:4時間)</p> <p>番匠川の良さや地域の自然を表現することができた。</p> <p>【まとめ・表現】 ○水彩画制作(4時間) ・自然体験から感じ取れた地域の良さを水彩画で表現しらた。 ※国土交通省主催「河川愛護月間」出品 優良賞1作品、奨励作品2作品受賞</p>   	<p>オリンピックを表現しよう(総合:4時間) 山間の自然を知ろう(総合:6時間)</p> <p>東京オリンピックで力泳する「池江璃花子」選手を、表現することができる。</p> <p>地域の自然の体験をとおして、環境保全への意識を育成することができた。</p> <p>【表現・発表】 ○爪楊枝アート制作(4時間) ・「池江璃花子」選手を爪楊枝アートで表現し、文化祭で展示・披露した。</p>  <p>【体験活動】 ○尺間ウォークラリー(6時間) ・尺間山への登山と地域の自然や生き物の観察から、ふるさとの良さを感じ取ることができた。</p> 	<p>生活に必要な商品の流れを知ろう (家庭:2時間)</p> <p>地元の特産品等の流通や消費状況をとおして、地域産業の将来を考えることができた。</p> <p>【調べ学習】 ○地元の特産品調べ ・鮎、しょうが等の流通や消費状況を調査した。特産物を用いた新商品の開発について考えることができた。 ※聞き取り調査・・・中止</p>  			

8.成果と課題

- 地域に出かけ、地域の自然に触れる体験活動をとおして、地域をより身近なものとして感じ、地域の将来像に思いを馳せるとともに、地域の一員としての自覚を育むことができた。
- 昨年は実施できなかった「鮎のちょんがけ漁」の体験により、地域の財産に目を向けさせ、地域の魅力を再発見させることができた。
- 救急救命法や着衣泳、ライフジャケット装着泳法の学習をとおして、水辺における命の守り方を学ぶことができた。
- 新型コロナウイルス感染症や河川の増水のため、予定していた活動内容の縮小や変更を余儀なくされた。学校の教育活動には、積極的に協力する地域であるので、今後は、地域人材の活用や交流を深めていきたい。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-024	弥生が好き! ～弥生を学ぶ、弥生を体験しよう～	大分県佐伯市立昭和中学校 校長 森脇 郷子



フィールド：本校ランチルーム
 日付：2021. 6. 16
 コメント：防災教室（2年）
 ① 講話「防災と土木について」
 ② 講話「防災VR体験」
 ③ ハザードマップを作成
 ④ 全体で交流
 ※ 自分が住んでいる地域の災害の危険性や避難場所の確認をとおして、探究心を喚起することができた。
 講師：大分県佐伯土木事務所企画調査課



フィールド：本校体育館
 日付：2021. 6. 22
 コメント：救急救命法講習（1～3年）
 ① 胸骨圧迫訓練
 ② 人工呼吸体験
 ③ AED装着訓練
 ※ 学年ごとに時間を区切って実施した。体験をとおして救急救命法を習得することができた。
 講師：日本赤十字社大分県支部



フィールド：弥生地域（本校校区全域）
 日付：2021. 6. 25
 コメント：校区現地調査（2年）
 ① 校区危険箇所現地調査
 ② 調査内容をハザードマップに追記
 ③ 全体で発表し共有
 ※ 現地調査で再確認した危険箇所をハザードマップに追記することで、災害への意識を向上することができた。
 講師：大分県佐伯土木事務所企画調査課



フィールド：番匠川淡水魚種苗センター
 日付：2021. 7. 5 7. 12
 コメント：鮎のちよんがけ漁体験（1年）
 ① 組合長による説明
 ② 伝統漁法体験（ちよんがけ体験）
 ③ 鮎料理（鮎の塩焼き）
 ※ 地元につながる「ちよんがけ漁」の体験や鮎料理体験から川と人々のつながりや川の恵みを知ることができた。
 講師：番匠川漁業協同組合

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-024	弥生が好き! ～弥生を学ぶ、弥生を体験しよう～	大分県佐伯市立昭和中学校 校長 森脇 郷子



フィールド：弥生 B&G 海洋センター プール
 日付：2021. 7. 12～13
 コメント：着衣泳及び水上安全法（1・2年）
 ① 着衣泳
 ② ライフジャケット装着泳体験
 ③ ペットボトル等を利用した救急法
 ※ 着衣泳やライフジャケット装着泳を体験することで、水辺や水上における安全な過ごし方を学ぶことができた。



フィールド：番匠川淡水魚種苗センター
 日付：2021. 7. 12～13
 コメント：鮎のちよんがけ漁体験（3年）
 ① 組合長による説明
 ② 伝統漁法体験（ちよんがけ体験）
 ③ 鮎料理（鮎の塩焼き）
 ※ 地元に伝わる「ちよんがけ漁」の体験や鮎料理体験から川と人々のつながりや川の恵みを知ることができた。
 講師：番匠川漁業協同組合



フィールド：番匠川小田井堰周辺、河童橋周辺
 日付：2021. 7. 15
 コメント：カヤック体験教室（1年）
 ② 一人乗りカヤック（3艇）
 ③ 二人乗りカヤック（17艇）
 ③ カヤック操縦練習
 ④ 学級対抗カヤックレース開催
 ※ カヤックの操縦練習後に、川の中程に設置したブイを周回する学級対抗カヤックレースを行った。生徒は初めて体験するカヤックに戸惑いながらも番匠川の清流を経験することができた。



フィールド：弥生 B&G 海洋センター プール
 日付：2021. 8. 30
 コメント：着衣泳及び水上安全法（3年）
 ① 着衣泳
 ② ライフジャケット装着泳体験
 ③ ペットボトル等を利用した救急法
 ※ 着衣泳やライフジャケット装着泳を体験することで、水辺や水上における安全な過ごし方を学ぶことができた。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-024	弥生が好き! ～弥生を学ぶ、弥生を体験しよう～	大分県佐伯市立昭和中学校 校長 森脇 郷子



フィールド：番匠川河童橋周辺、井崎川
 日付：2021. 8. 27 8. 30
 コメント：サップ体験教室（2年）
 ① サップ（10艇）
 ② 操作法説明
 ③ サップ体験を実施
 ※ 2年生2学級を2日間に分け、サップ体験教室を実施
 実施した。サップの操縦法を学ぶことができた。
 講師：道の駅やよい「番匠おさかな館」 立川淳也 氏



フィールド：番匠川河童橋周辺～小田井堰
 日付：2021. 9. 29～30
 コメント：カヤック・サップ体験教室（3年）
 ① サップ（10艇）
 ② 二人乗りカヤック（10艇）
 ③ 操作方法説明
 ④ カヤック・サップ体験を実施
 ※ 3学年2学級を二日間に分け、カヤック・サップ教室
 を実施した。日頃から親しんでいる番匠川を見つめ直す
 ことができた。魚や水草の観察をすることができた。
 講師：道の駅やよい「番匠おさかな館」 立川淳也 氏



フィールド：弥生地域（本校校区全域）
 日付：2021. 10. 19
 コメント：校外調査活動（1年）
 ① テーマ設定（文化、歴史、自然、食、観光）
 ② 班ごとに校区調査活動
 ③ インタビュー、観察、記録等
 ④ 教室にて、情報の整理・まとめ
 ※ 地元の人々へのインタビュー、実地での調査・観察等
 をとおして、弥生の魅力を発見することができた。



フィールド：本校体育館
 日付：2021. 11. 2
 コメント：文化祭（1～3学年）
 ① 弥生おすすめMAP展示（1年）
 ② ハザードマップ展示（2年）
 ③ 「池江璃花子選手」爪楊枝アート展示（3年）
 ④ 大壁画展示
 ※ これまでの活動をまとめた作品等の展示・発表をと
 おして、保護者・地域の方々に本校の活動と弥生地域の
 魅力等を知らせることができた。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-024	弥生が好き! ～弥生を学ぶ、弥生を体験しよう～	大分県佐伯市立昭和中学校 校長 森脇 郷子



フィールド：本校体育館
日付：2021.11.11
コメント：避難所運営体験（2年）
① 避難所運営説明
② パーテーション体験
③ 避難所運営ゲーム
※ 避難所開設体験から、災害時の自助・共助について学ぶとともに、防災意識の向上を図ることができた。
講師：佐伯市社会福祉協議会



フィールド：本校体育館
日付：2021.12.8
コメント：非常時炊き出し訓練（2年）
① 無洗米炊き出しと試食
② 災害用テント開設体験
※ 無洗米の炊き出しと避難所開設体験をとおして、災害時の自助・共助について学ぶとともに、防災意識の向上を図ることができた。
講師：日本赤十字社大分県支部



フィールド：尺間山
日付：2021.12.17
コメント：尺間ウォーク（1～3年）
① 行程・・・学校～尺間山（往復20km）
② 学級ごとに4～5人の班を編制し活動
※ 尺間山への登山をとおして、地域の自然や生き物、神社の鳥居などの文化遺産に触れることができた。前日の降雨により、登山道不良のため、山頂まで行くことができなかったが、往復20mの行程を走破することで、達成感を得ることができた。



フィールド：道の駅やよい、佐伯市役所弥生振興局
日付：2021.12.24
コメント：おすすめパンフレット展示・配布（1年）
① 展示場所：道の駅やよい、佐伯市役所弥生振興局
② おすすめパンフレット 約200部（19種）
※ 弥生の魅力をまとめた「おすすめパンフレット」を作成し、道の駅やよいと弥生振興局に展示・配布し、地域の魅力を発信することができた。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7212-024	弥生が好き！ ～弥生を学ぶ、弥生を体験しよう～	大分県佐伯市立昭和中学校 校長 森脇 郷子

主な実施箇所

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
 (縮尺は1/50万～1/100万程度)



拡大図



助成事業の主な実施箇所